



本年最終号となりました。一年間ご覧いただきまして大変ありがとうございました。

大雪山国立公園

2020 11月号 NO・100  
11月25日発行

# 層雲峡ビジターセンター



【冬眠前のエゾシマリス～11月】間もなく冬眠に入るシマリス。9月から冬眠を開始する個体もありますが、平均10月末には成獣も若い個体も冬眠します。気温に左右されますが、ほとんどのシマリスは平均気温が0℃を下回ると冬眠します。この日は手元の温度計でマイナス2.5℃、それでも写真の通りまだ餌探し…。やはり餌が足りないのでしょうか？陸上生物のおよそ8割が森林で生きています。その森林が年を追うごとに消失しているというデータがあります。別ページにも載せましたが、以前は国道等で動物の無残な姿はあまり見かけませんでした。これらの影響等で行き場を失っている動物たちが少なからずいるようです。原因は温暖化や森林伐採等々、我々人間の活動です。生態系が乱れないよう、また、弱者の動物たちが絶滅の道を辿らないよう自然環境を守っていかねばなりませんね。



【大雪山高原温泉沼めぐり～10月】下段の「層雲峡峡谷」同様に見事な色合いを見せてくれました。写真は左が「滝見沼」右が「緑沼」、標高1200～1500m 地点も気象等の影響を受けずに済み真っ赤なウラジロナナカマドが現れました。



【大雪山系初雪～9月】9月26日大雪山系一帯に雪が舞い、場所によっては積雪となりました。その後一端とけましたが10月6日に再度降雪があり、標高1500mから上部については冬山の状態となりました。9月に入ってから気温が高い日が続き、遅い初雪となりました。(昨年9/16)



【ニューヘアースタイルか?10月】  
脳目も振らず草を食べていましたが、顔を上げると「角」に草が絡まり、何やら髪の毛でも生やした滑稽な姿になっていました。すっかり「冬毛」に変わり、これからの繁殖期に向けて「もりもり」食っていました。

【層雲峡峡谷の紅葉～10月】  
山岳地帯は気象等の影響をうけ、橙色が主体の色合いとなりましたが、峡谷沿いは写真の通り「ハウチワカエデ」をはじめとして、今年も国道39号線上川町から三国峠に至るまでの約50kmの「紅葉街道」は見事な紅葉となりました。



【ヒグマ～10月】林道を走行中、カーブを曲がると前方にヒグマが……。しばし車と熊とのにらめっこ。しばらくすると熊が立ち上がったため、ゆっくりと車を後退させると熊も引き返していきました。至近距離以外いきなりは襲ってきません。まずは威嚇行動をとります。唸り声をあげたり、あごを「がくがく」鳴らしたり、歯を「ぎしぎし」させたり、前脚で地面を「たたいたり」、さらには立ち上がったたり、また、複数回突進してきますが距離は2～3m程度。この時にこちらが後退しないと攻撃の意思があると思われる襲ってきます。ヒグマは臆病な動物、ヒグマも人間が怖いのです…。



くるまだー。にげろー。おーあぶなかったぁ……。こちらも見えてひやひやです……。北海道では、エゾシカ・キタキツネ・エゾタヌキ・エゾクロテン・エゾユキウサギ・ヒグマ等々の他にシマリスも随分と車の犠牲になっています。あの爆音が迫ると恐怖心でパニックになるという説もありますが、ドライバーの皆さん気をつけてくださいね。



**【エゾシカの繁殖期～10月】**繁殖期は10～11月。一夫多妻制で、雄は縄張りの中にハレムを作り生活します。雄同士で角を突き合わせたり、「フィーヨー」という鳴き声（ラッティングコール）を上げ自分をアピールします。争いに勝ち抜いた雄はハレムのリーダーとなり、群れの雌と繁殖ができます。期間は10日程度、一日数十回交尾します。繁殖のためにヌタ場と呼ばれる泥地に行き、自分の尿と泥を混ぜて身体に塗ることで黒く濡れた逞しい姿になることと、尿による強烈な雄の匂いを放しアピールします。そうです、強い雄だけがハレムを形成できるのです。威圧感たっぷりの雄シカ、林道の真ん中でまったくよけてくれず、とうとう引き返しました。普段は襲うことはありませんが、繁殖時は「苛立って」おり非常に恐いのです・・・。



**【シギ類は難しいです～10月】**右がアオシギ？左がオオジシギ？…。どちらも本種より二回り程度明らかに小さかったため専門家に判断を委ねました。右はアオシギのようでしたが、左はオオジシギと言い切るのには難しいとのこと。繁殖期以外ならチュウジシギやハリオシギの可能性は捨てきれないとの判断でした。それぞれ「尾羽の数」が違うことで野外での識別は極めて困難なようです。やはり「標識調査」でもしない限り断定はできませんね。いずれにしても、観察の機会は中々なくこの地方では珍しいシギです。



**【ジュウイチ幼鳥～10月】**

ヒヨドリよりやや大きめのカッコウ科・ジュウイチ、中々お目にかかれませんが、今回は幼鳥に出会うことができました。成鳥は背・翼にかけては灰黒色、胸から腹にかけては淡橙色。幼鳥は上面が褐色みの混じった黒色で、下面は白く黒褐色の縦斑があります。どちらも黄色いアイリングが特徴です。森林性で、平地や開けた環境にはほとんど現れません。「ジュウイチー」とはっきり鳴き、しだいにテンポが速くなる特徴のある鳴き声ですが、どうしても「ジュウイチニツ」と聞こえてしまいます・・・。姿を現さない「忍者鳥」として「見てみたい」という野鳥ファンが多いようです。



**【キタキツネ～11月】**親子？カップル？兄弟？…。どちらもまだ幼い顔をしていますので親子ではなさそうです。仔別れの「儀式」も既に終わっているはずで、カップルにしては時期的に早いので、これは「兄弟」なのでしょう。親と別れた後も一定期間一緒に行動する姿を何度も目撃していますので、兄弟とみて間違いなさそうです。しかし、いつまでもこの状態ではせっかく愛情のこもった親からの「力強く生きていけ」というサイン・儀式も水の泡ですね。早く独り立ちしなさい！！

**【ナナカマド実～11月】**ナナカマドの実は完全に熟さないと毒があり苦み成分が強いですが、寒さで実が凍ったり溶けたりを繰り返すことで、実の苦みや毒素が分解されます。野鳥達もそれをわかっている、今年もヒヨドリやツグミ、キレンジャクやヒレンジャクもやってきて食しています。





# 観覧会のおしらせ

## 2020年度・ビジター講座

・スノーシュートレッキング  
 午前・銀河の滝 午後・ニセイチャロマップ  
 1/16.17.23.24.30.31 2/6.7.13.14.20.21

★★観覧会は事前申し込みが必要です★★  
 ★★詳細についてはお問合せください★★

遊びに来て  
 トップ

■大雪山フィールドノート写真展■  
 (日時) 常時展示  
 【場所】ビジターセンターレクチャールーム  
 (内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介します。  
**皆様のお越しをお待ちしております。**

### 11月のカレンダー

9月!		上川・層雲峡気象!	
9/30	エゾリス、ヒグマ	上	9/25 上川町日最低気温3℃
10月!		上	9/26 上川町 日最大瞬間風速17.7m/s 9月観測史上5位
10/2	エゾリス2匹	上	9/29 センター前 日最低気温3℃
10/3	住宅街にエゾキウサギ	上	10/5 上川町 日最大10分間降水量4.0mm 10月観測史上4位
10/7	エゾリス2匹	上	10/9 上川町 日最低気温1.7℃
10/8	ジュウイチ幼鳥、オオジシギ幼鳥	上	10/10 上川町 日最低気温0.7℃
10/11	クマガウ	層	10/11 センター前早朝-4℃
10/13	シマリス、エゾリス、ピンズイ幼鳥 チュウジシギ・ハリオシギ? アオシギ	上	10/13 層雲峡 日最大10分間降水量3.0mm 10月観測史上3位
10/14	エゾシカ ラッティングコール	層上	10/15 センター前 日最高気温5℃ 上川町6℃
10/18	キタキツネ兄弟、ヒグマ	上	10/16 上川町 日最低気温-0.5℃
10/21	ヒグマ、疥癬病のキタキツネ	上	センター前 日最低気温1℃
10/22	クマガウ	層	センター前 日最低気温0℃
10/23	シマエナガ群れ	上	10/20 上川町 日最低気温-1℃
10/28	シマリス	上	10/21 層雲峡・上川町 霜・氷 上川町 日最低気温-1.9℃
10/31	シマリス	上	10/30 層雲峡・上川町一時雪 上川町 日最高気温4.2℃
11月!		上	11/3 センター前 日最低気温-2℃
11/1	シマリス2匹、疥癬病のキタキツネ	上	11/4 センター前 日最低気温-3℃ 日最高気温0℃
11/6	シマエナガ群れ	上	上川町 日最高気温1.4℃
11/7	カンザダカ群れ	上	層雲峡降雪16cm
11/8	エゾリス	上	11/7 層雲峡 日最大10分間降水量2.5mm 11月観測史上1位
11/10	エゾキウサギ	上	上川町 日最大10分間降水量5.5mm 11月観測史上1位
11/11	エゾキウサギ、シマエナガ群れ	上	11/10 センター前 日最低気温-5℃
11/12	キタキツネ、エゾリス	上	上川町 日最低気温-4.1℃ 日最高気温-0.9℃
11/13	日暈	上	11/11 センター前 日最低気温-6℃ 上川町-7.9℃
11/14	イイズナ	上	11/13 上川町 日最大1時間降水量8.5mm 11月観測史上5位
11/15	疥癬病のキタキツネ	上	11/14 層雲峡降雪14cm
11/16	ツグミ群れ	上	11/20 センター前 日最低気温8℃ 最高気温14℃ 季節外れの暖かさ
11/18	シマエナガ群れ	上	上川町15.4℃
黒岳気象他!		上	11/20 層雲峡 日降水量40.5mm 11月観測史上4位
9/24	ゴンドラ内からブロッケン現象 複数回現れる	上	層雲峡 日最大10分間降水量2.5mm 11月観測史上1位
9/26	大雪山系初雪(前年9/16)		
9/29	ホシガラス		
10/6	標高1500mから上部 降雪・積雪状態		
10/14	五合目雪		
11/19	黒岳スキー場オープン積雪10.0cm(昨年11/22) PM雨 一時閉鎖		

カレンダー期間 09/21-11/20  
 観測地上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳

晩秋のお楽しみの一つ「落葉アート」  
 ナナカマドやハウチワカエデ等々、この景色を見ると、いよいよ秋も終わりです



今回の子ビタね

この後、木柵に飛び移るも失敗・・・。  
 転げ落ちていました。あはは。



発行:大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401  
 アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>  
 開館時間 6月~10月/8:00~17:30無休・入館無料  
 11月~5月/9:00~17:00月曜日休(祝祭日は翌日)  
 2020年11月25日発行 M・K

編集後記:ビジターセンターだよりも、今月で節目の100号となりました。いつもご購入いただきまして大変有難うございます。お客様からは「次号の題材が楽しみ」「今月号の〇〇が可愛かった」「いつも勉強させていただいています」等々嬉しいお言葉もいただいています。ホームページ閲覧数も年々伸びており、10月末現在「ブログ」に次いで多い閲覧数となっております。これからも、皆様方が自然に対して興味をもっていただけるよう日々努力してまいります。今後とも変わらぬご支援をいただきますよう、書面を持ちましてお礼の言葉とさせていただきます。SD 担当 MK

白黒紙面でご覧の皆様へ ~ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧ください。